交流

発行日:平成26年2月2日　第17号
福島日中文化交流会　事務連絡先
〒960-0613 福島県伊達市保原町字内町21-5
Tel/Fax 024-575-2071 携帯:090-2360-3275
Email:mayumi_mihojp@yahoo.co.jp
URL:http://www.rizhongwenhua.com

あけまして
おめでとうございます。

会長　岩間真弓

2014 年新年の幕開けでございます。会員の皆様におかれましては、お健やかにそして穏やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと日中関係は、尖閣諸島など諸般の問題により、一昨年に引き続き首脳会談も行われず関係が冷え込んだまま、関係改善の糸口も見つからず何の進歩もない一年でした。政府間においてお互いに一歩も譲らず関係を悪くする方法をあれやこれやと考え迷走してきました。友好関係を築いていくためには、最初から互いを理解しようという気持ちがなければ始まりません。

教育や思想の違い、習慣や文化の違い、考え方に違いがあって当然のこと、それを一つずつ歩み寄り、話し合いを深め、理解し合っていくことが外交の基本だと思います。自己主張ばかりでは成り立たないということです。是非、今年は馬の年にあやかって、日本と中国の友好関係が修復できるようううまくいってほしいものです。

さて、政府同士の関係はさて置き、当福島日中文化交流会の活動は、会員の皆様の支えにより日本と中国の友情を育くむ大変充実した良い活動ができたと思っております。当会は、現在会員数が１０８名、日本人７割、中国人３割位の比率ですが、一年間互いに仲よく楽しく活動ができたことに心より感謝申し上げます。

昨年の活動を思い起こしてみますと、８月３０日（金）に新潟総領事館総領事王華先生よりお食事のご招待を受け、役員一同新潟総領事館へ行って参りました。このことは、当福島日中文化交流会にとって大変な名誉であり光栄なこと、王華総領事はじめ新潟総領事館の先生方に大変感謝申し上げたいと思います。日中友好のため領事館の先生方も必死な思いであるということが伝わり、胸が熱くなる思いでした。

また、秋には恒例の中秋節交流会を行いました。70 名も参加する大きな行事となり友好を深めることができました。中国語会話教室のみなさんが演劇発表をする中で、高橋重夫顧問は『三字経』をすべて暗記しご講演をいただいたのには驚嘆いたしました。ご高齢であるにも関わらず誰も真似

のできない前例のない快挙を成し遂げられ、中国語の大先輩の存在を知らしめたのでした。

そして、一昨年のコンサートから続く馬頭琴のワークショップも当福島日中文化交流会ならではの活動で中国やモンゴルなどの民族楽器を紹介するいい機会になりました。

日本と中国の友好を築いていくためには、千年以上も続いてきた何も利害関係のない文化交流が一番です。日本は、唐の時代に遣唐使を送り中国に学び長い歴史を築いて来ました。学んだものは、現代に引き継がれ、日本の生活に浸透しております。例に上げると言語表記は、両国とも漢字を使います。漢字を使う国は、世界で日本と中国だけです。漢字は、二千三百年前、秦の始皇帝が篆書として伝え、現在でも書道家は書き続けております。互いに習うものは大いにあります。

このような考えを踏まえ、今年も屈することなく日本と中国の関係改善のために文化交流を大いに継続して行きたいと思います。そして、この文化交流が友好交流へと発展するよう願っております。

結びに、今年２０１４年が、会員のみなさまにとって健康で幸せな良い年でありますよう心よりお祈り申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

ワークショップ　アジアの民族楽器はどんな音？

菅野隼人

モリトンモンゴルのオトゴンバートルさん、エルデネダライさん、オユンエルデネさんの 3 名が福島市音楽堂の第 4・5 練習室にお越しくださり、馬頭琴と楊琴のワークショップを 2 回と、演奏会を行いました。会場には私たち会員も含めて約 20 名が参加しました。

ワークショップでは、集った皆さまがそれぞれ実際に馬頭琴を手に取り、丁寧な指導のもとに音を出し、また、バチを持って楊琴を演奏しました。私はまごつきながらも馬頭琴を両ひざに挟んで弓を持ち、音を出そうとしましたが初めは上手に音を出すことができませんでした。しかし、楽器と弓の構え方を教えてもらうと音程に多少のずれが残りつつもなんとか形にすることができました。教えてもらう前とでは全然違いました。馬頭琴 7 台ほどで、全員で一つの音程を弾くと、練習室にきれいな音が響き渡りました。楊琴もバチを持って参加者の方々が交代で演奏すると、余韻が長く続く、美しい音色が聞こえてきました。音楽っていいですね。

また、エルデネダライさんによる馬頭琴と、低音と高音を同時に発声するモンゴル国の伝統的な歌唱法「ホーミー」を共に用いた演奏を聴きました。草原にいるかのような感覚でした。

最後に花束を贈呈し、心に響く音楽に胸を熱くしながらも閉会しました。

平成２５年　忘年会

高田純子

日中文化交流会 2013 年 12 月 15 日在土湯温泉向滝举办的忘年会。

这次的忘年会我是第一次参加，人数不是很多，但是饭菜都很来富，而且大家玩得好高兴，又唱歌又跳舞的，而且还可以洗温泉，我虽然没洗，感到遣憾。

日中文化交流会促进两国文化交流和友好，是一个丰富的忘年会。

日中文化交流会では、２０１３年１２月１５日土湯温泉向瀧におきまして忘年会を開催いたしました。

今回の忘年会に私は、初めて参加しました。人数は多くはなかったですが、お料理はとても沢山あり、みんなで楽しく遊び、歌ったり踊ったり、温泉にも入ることができました。

でも、私は入らなかったので残念だなぁと思いました。日中文化交流会が、両国の文化交流と友好交流を促進した豊かな忘年会となりました。

岩間真弓訳：

齋藤佐久男

12 月 1 日、土湯温泉向滝で忘年会が開催されました。当日は 15 名が参加され、内中国人の人たちが 7 名で宴会を大いに盛り上げてくれました。

宿に到着したら先ず温泉、内湯で身体を温めて露天風呂へ、土湯温泉は前夜雪が降った模様で、一面の雪景色を眺めながら一息、火照った身体を外気で冷まし、冷えたら又温泉で温まる。一年間の凝りがじんわりと解れていくひと時でした。

宴会は､福嶋冨士雄理事が 2013 年を振り返り、充実した活動を支えていただいた会員皆さまのご協力とご尽力に対しての感謝と、新たな年の更なる活動継続の重大さの挨拶の後、猪股宗男監査の乾杯の音頭で始まりました。

お料理は二の膳付の豪華なもので、鍋と焼き物に火が入り、更にはお作り、茶碗蒸し、天麩羅と最後のデザートまで次から次とお料理が運ばれてきてとても満足の出来るものでした。

トップを切って演じてくれたのは柳澤美佐子さん。今年は黒田節、正に大槍を飲み取る豪快な男踊りを披露してくれました。詩吟・謡舞とその芸域の広さには驚きです。その後を引き継いだのは菅野隼人さんの二胡、練習三ヶ月未満とは思えない完成度で、是非別な機会でもご披露いただきますので、皆さんお楽しみに。

その後はカラオケ大会となりましたが、張萍さんの歌の上手さは分かっていましたが、友人の奥山さん・王さんの上手さも驚きで、心に響く演歌でした。ただ残念な事はカラオケの尺の関係か、張萍さんの『津軽平野』がフルコーラス歌いきってもらえなかったことで、今度フルコーラスのカラオケ用意しますので、その時はよろしく。

菅野隼人さん監修のクイズ大会で、皆さんが用意したプレゼントの交換で中締めとなり、その後はもう一度温泉に入る人、カラオケを楽しむ人、談笑を交わす人と会場を出なければいけない時間まで、目いっぱい有意義で楽しい忘年会となりました。

中国の家庭料理教室

矢部良子

福島日中文化交流会の発足以来、初めての行事であり、いったいどの位の受講者がいるかが大きな不安材料でした。PR チラシもあちらこちらに置かれましたが、手にとり見てくれるのを待つだけでは心元ありません。そこで会場のもちずり学習センターの文化祭の機会を利用し訪れた方々にチラシを直接手渡しながら参加を呼び掛けてみました。手応えはありました。結果として地元の参加が多くなりました。また、太極拳国見教室からは、１０名程の参加者がありました。

第１回「水餃子」には３７名となり調理台に８～９名となりかなり窮屈でした。が調理そのものはベテラン主婦の皆さんは実に手際よく協力し合ってスムーズに進められました。

第２回目からは混雑からの事故防止のために新たな呼びかけをせず、名簿に〇印をつけていただき定員２５名程度を目標にしました。その結果、第２回「酢豚」３１名、第３回「小龍包」２５名、第４回「宮保鶏丁」２３名、第５回「餛飩」１８名、第６回「墨魚炒蒜台」２５名でした。

プロのシェフや料理研究家の講習とはひと味異なり、大連出身の近野春美さんの明るく親しみやすい人柄と合理的な調理方法､特に粉物（水餃子、餛飩など）の技には人々の目を見張らせるものがありました。味はとても美味で毎回みなさんの満足の声があがりました。

また、浜通りから避難されている男性も毎回参加されました。

講師の説明とやって見せる示範がとても魅力的で楽しかったようです。おいしいが“好吃！”などと中国語が浸透しはじめました。

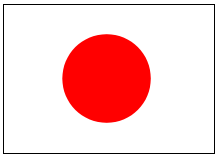
試食中には、日本人は器を持って食べるが中国では持たずに食べるマナーの違いにも触れてみました。ついでに日本人はおよばれした場合に箸をつけた料理は残さず食べますが、中国では足りないので追加の必要が生じること、レストラン等で食べきれなかった料理は持ち帰る（打包）が当たり前のことなどです。わずかながらも文化交流のひとつになったのではないかと思います。

回を重ねる毎に質問が多くなりましたが、調味料に集中したようです。何グラム？何ｃｃ、大さじ何杯？などなど。日本人は細かい？

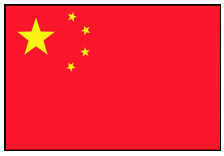
家庭の主婦の料理は日本も中国も同じで手加減なのです。ベテラン主婦は経験から自信をもってそれができるのです。

今回学んだ料理が年末年始の家庭料理に加わったとの報告もたくさんありました。私も初めて新幹線一人旅をしてきた孫娘と小龍包を元旦の昼に作りました。具の包み方は、私は４つ目でうまくできましたが、孫は１度で上手にできたので褒めまくりました。きっと今年は良い年になるでしょうと、ばあばバカの気分に浸りました。

６回で終わるのが惜しいような雰囲気ですが中国語に興味をもちはじめた方、文化の違いに気付き理解しようとする方など私達の福島日中文化交流会の活動にも関心をもち今後の行事にも参加していただければ幸いに思います。まとめてひと言“口福と幸福（心）”を味わった行事（活動）でした。



お知らせ



いつも福島日中文化交流会へのご支持とご協力感謝申し上げます。

平成２５年度の会費及び各種会費納入のお願い

下記へよろしくお願いいたします。

会費納入について

(1)　郵便局振込みの場合(お近くの郵便局で)
　02220-7-105525　福島日中文化交流会

(2)　銀行振り込みの場合
　振　込　先:普通預金　東邦銀行保原支店
　口座番号:733649
　名　義　人:福島日中文化交流会
　　会長　岩間真弓
　住　　所:〒960-0613
　　伊達市保原町字内町 21-5

(3)　会費について
　法人会員　10,000 円　　個人会員　　3,000 円
　中国人会員　500 円

中国語会話教室からお知らせ

◎　中国語会話教室第42期募集開始！

日時:平成25年10月～平成26年3月
場所:福島市中央学習センター
内容:

入門
講師:岩間真弓　補助講師　宋文静
毎週木曜日午後6時 00 分～7時 00 分

初級
講師:岩間真弓　補助講師　宋文静
毎週木曜日午後7時15分～8時45分

中級
講師:李淑薇
毎週火曜日午後6時 30 分～8時 30 分

費用:一ヶ月 3,000×6 ヶ月＝18,000 円
※一クラス分の授業料で 3 クラス受講可能
※各クラス授業日は都合により変更する場合あり。

◎第82回中国語検定試験開催

日時:平成26年3月23日(日)
場所:福島テルサ
内容:準 4 級･4 級･3 級･2 級･準 1 級

「当面の行事のお知らせ」

1　花架拳教室
日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)
場所:福島市中央学習センター
内容:護身術である花架拳を演舞する
費用:1 年分　9,600 円(800 円×入会月から)
講師:日本花架拳学会　飯田加寿子

2　健康マージャン教室
日時:毎月第2日曜日(都合により変更もある)
場所:福島市中央学習センター
費用:1 年分　6,000 円(500 円×入会月から)
内容:吸わない･飲まない･賭けない健康なマージャン

3　日本語教室

日時:毎週木曜日 16:00～18:00
場所:福島市中央学習センター

講師募集！
内容:中国人に日本語を教える
＊講師料はお支払いできません。教科書各自負担。

『福島日中文化交流会ホームページ』
http://www.rizhongwenhua.com/

≪編集後記≫
あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。
(編集担当)